

授業者も参加者も創る!!高まる!!広げる!!

西部の算数・数学の未来へバトンをつなぐ



令和元年9月発行
西部教育事務所

主体的・協働的に学ぶ児童の育成

7月18日(木)に清水小学校で、9月12日(木)の授業研究会に向けて行われた、教材研究会の様子を紹介します。



西部管内の
講座関係のHP

【提案内容】小学校4年「簡単な場合についての割合」【授業者】高田 敦斗 教諭（土佐清水市立清水小学校）

清水小学校の提案

- ① 学習の系統性を大切にし、低学年からの割合の見方を関連させた丁寧な指導を行う。
- ② 本単元では、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察する力を伸ばし、第5学年の「割合」につなげていく。

本単元でつきたい資質・能力

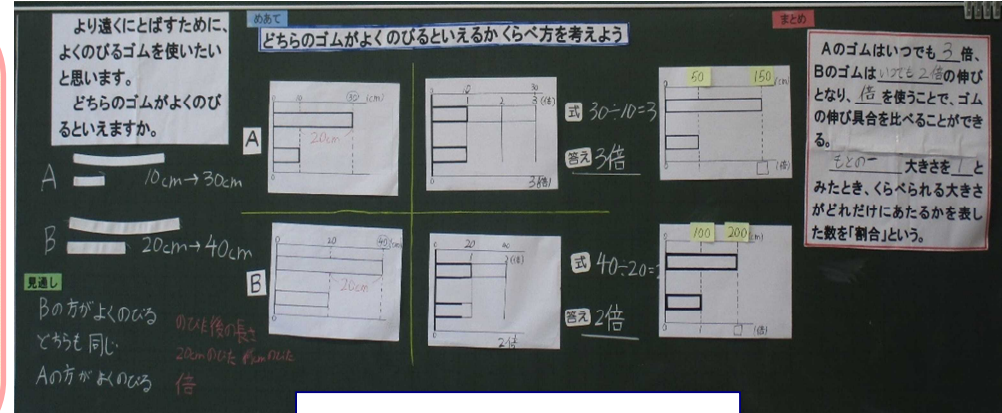
- ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることを知り、二つの数量の関係を考察する力。
- 図や式などを用いて数量の関係を表し、数量の関係を適切に読み取って判断する力。

本単元でつきたい資質・能力へのアプローチ

- 差による比べ方と対比させて、割合を用いた比べ方に気付かせる。
【差ではなく、基準とする数量を1と見たとき、他方の数量がどれだけにあたるのかという視点（倍）で見ることに気付かせる。】



高田 敦斗



教材研究における最終板書

授業リフレクション

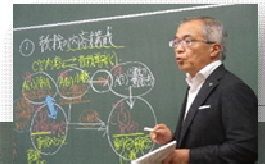
- 差ではできない理由を考えさせたら、倍で考えたことの良さにつながったのではないだろうか。
→基準量が違うから、差で比べることはできない。
- 割合は変わらないということを見事に落とし込む工夫が必要なのではないだろうか。
→言葉だけではなく、表などで表す工夫があれば理解が深まる。

参加者の声 ～教材研究会で学んだこと～

- 領域が関連し合っていることを学び、学習にはつながりがあることを再確認することができた。
- 思考させたいことをどんな発問で引き出ししていくのか、そのためには教材の解釈をし、しっかりと教材研究を行うことの大切さを感じた。

子供とともに価値ある学びの文脈を描く

齊藤 一弥 学力向上総括専門官による指導・助言



POINT①

教材の内容構成

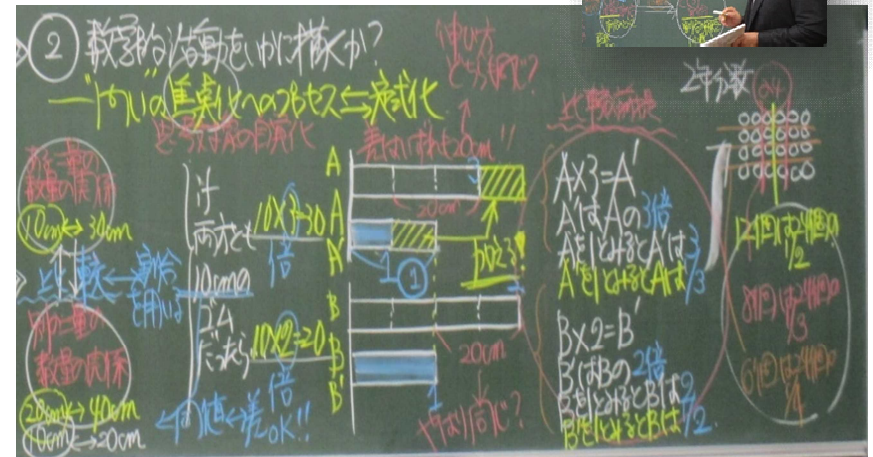
4年生に新設された内容を解釈するには、新旧の学習指導要領を比較し、何が変わったのかを整理していくことが必要である。A領域(3)「整数の除法」とC領域(2)「簡単な場合についての割合」をどのようにつなげて単元を作るのか、領域を越えた単元作りができるのかという教材の内容構成を考えて、単元を作ることが重要である。



POINT②

数学的活動をいかに描くか？

問いを焦点化させていくプロセスを丁寧に描くことがポイントになる。「今日、何を考えたらいいのか。」について、自覚させることが大切である。この数量の関係がどう関係になっているのか、差では比較できないことにどのようにして気づかせていくのか、という学びの文脈をいかに描いていくかが大切である。



授業者も参加者も創る!!高まる!!広げる!!

西部の算数・数学の未来へバトンをつなぐ



令和元年 9月発行
西部教育事務所

主体的・協働的に学ぶ児童の育成

7月18日(木)に清水小学校で、9月12日(木)の授業研究会に向けて行われた、教材研究会の様子を紹介します。

教材研究会を振り返って



高田 教諭

二つの数量を比べる時、これまでは差で比較ができたけれど、この学習では差で比べることはうまくいかないという気づきから倍の考えを使うとできるという気づきへ、テープ図をしっかりと活用して、子供たちに考えさせることを丁寧にやっていかなくていけないことを振り返った。

差ではできないということにどのようにして気づかせて、差の見方から倍の見方へと、どのように子供の思考を働かせていくのか、授業研究に向けて授業構成をもう一度整理したい。



松本 教諭(研究主任)

「簡単な場合についての割合」は、4年生で新しく位置付いた学習なので、現行の学習指導要領と新学習指導要領を見比べ、どこが変わったのかをしっかりと押さえた上で教材の解釈をしていくことが大切だということを感じた。

どのように単元をつなげて作るとよいか、単元構成について、もう一度構成し直したい。



清水小学校授業づくり講座 今後の予定

- ☆ 9月12日(木) 授業研究会
- ☆ 12月12日(木) 教材研究会
- ☆ 2月14日(金) 授業研究会

学校、校種を超えて一緒に学びましょう。ぜひ、お越しください。